



まなびかんニュース パソコン道場

まなパソコン道場

第48回

紙面記載の画面は
Windows7+Office2013
操作環境によっては表示
が異なる場合があります

白帯級

エラー値なんか見えなくしちゃえ！

Excel

C2	=A2/B2		
	A	B	C
1	合計	人数	平均
2	2000	0	#DIV/0!
3	3500	10	350
4	12000	20	600
5			

左図のようにC列に割り算を入力したところ、セルA2の値を0で割ろうとしたので、セルC2には #DIV/0! というエラー値が表示された。そもそもこのエラー値というものは何なのか？ 式は間違っていないし、出来れば出たくない。しかも印刷時にも表示されるので、なおさら消したい。

さて、このエラー値の対処にはIF関数とISERROR関数の2つを使うのが定番。セットで覚えてしまおう♪



1 セルC2の式を以下のように修正し、C4までコピー。

=IF(ISERROR(A2/B2),"",A2/B2)

“もし(A2/B2がエラー)なら何も表示せず、そうでなければA2/B2の値を表示しなさい”という意味になる。

このようにエラー値の対処には、IF関数とISERROR関数(イズエラーと読む)で条件分岐すれば良い。場合によってはエラー値ありの方が都合が良いこともあるが、このセットは他のエラー値でも同様に使えるので、ぜひ覚えてほしい。どうじゃな。カンタンじゃろ？

C2	=IF(ISERROR(A2/B2),"",A2/B2)					
	A	B	C	D	E	F
1	合計	人数	平均			
2	2000	0				
3	3500	10	350			
4	12000	20	600			

参考：よくみるエラー値

表示	元の英文	意味
#DIV/0!	Division By 0	0(ゼロ)で割り算したので計算できない。
#VALUE!	Wrong type Value	適切でない値やデータが入力された。
#N/A	Not Available Value	値やデータがない。
#NAME?	Unrecognized Name	関数名やセル範囲名などが間違ってる。
#REF!	A Reference to a cell that does not exist	数式で使っているセル、またはセル範囲を参照できない。
#NULL!	Null intersection	指定したセルの中に(,コロン)や(.カンマ)がない。
#NUM!	An invalid Number	値が大きすぎる。または値が小さすぎる。

白帯級

初級レベル

茶帯級

中級レベル

黒帯級

上級レベル